

岩屋漁港の絵島

兵庫県・淡路市



岩屋漁港には別名「おのころ島」と呼ばれる「絵島」がある。古事記、日本書紀の国生み神話に登場する「おのころ島」は、伊弉諾尊いざなぎのみことと伊弉冉尊いざなみのみことの二神が天浮橋あめのうきはしの上に立ち、「天の沼矛」で蒼海原をかき回し引き上げた時、矛先からしたたり落ちた潮が固まってできた島のこと、この島こそが日本最初の国土とされている。おのころ島には諸説あるが、絵島もおのころ島伝承地の一つである。月見の名称として名高く「平家物語」の「月見の巻」にも登場する。

また、絵島の頂には、平清盛が大輪田の泊（神戸市兵庫区）を築造する際、人柱となった松王丸（平清盛の小姓）が祀られている。淡路島、絵島の美しさについて松王丸とよく語り合ったことを思い出し、港の見える絵島の上に清盛が心を込めて祀ったといわれている。

絵島は、その美しさから古来より多くの人々を魅了し、現在も岩屋の漁師の誇りであり、漁村景観の中で欠かせないものとなっている。

TOPICS

- ・えびす舞 3月15日前後の日曜日 開催
- ・石屋神社春祭 5月第2土日曜日 開催
- ・石屋神社秋祭 9月第2土日曜日 開催
- ・特産品：イカナゴのくぎ煮、天日干し

お問い合わせ先

淡路市観光案内所

TEL / 0799-72-4624

【交通】

バス / 高速舞子から高速バスで13分、岩屋ポート下車
船 / 明石から旅客船で13分、岩屋ポート下船
明石からフェリーで20分、岩屋港下船し、徒歩10分

